

✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2018年2月13日 El País オンライン版

■ 国民党、2018年から2021年の間に契約期間が満了する有料自動車道路のコンセッションを延長しないよう求める

El PP pide no prorrogar concesiones de autopistas que vencen entre 2018 y 2021

与党・国民党の国会の報道担当者であるラファエル・エルナンド氏が水曜日に下院で発表したところによると、同党は2018年から2021年に満期を迎える有料自動車道路のコンセッションの契約延長を行わないよう国に求める。エルナンド氏は、これらの有料自動車道路が「契約期間中の通行料支払いによって償却された」とし、そのため「これらの道路を国に返還し、国は新規の維持管理方法を決定するべきだ」と提案している。野党のポデモス党は破たんし救済される9件の有料自動車道路について、決して再民営化せず、公共部門によって公金で管理されるべきだと主張した。

ドイツ 2018年2月15日 Verkehrs Rundschau

■ チューリングゲン州、渋滞を知らせる電子システムを設置

THÜRINGEN PLANT ELEKTRONISCHES STAUWARNSYSTEM

4月末から、チューリングゲン州のアウトバーンで渋滞警告システムが常時使用される予定。情報を更新するこの標示は、エアフルト周辺へ向かう車両に対して、アウトバーン4, 9, 71号線の交通状況を伝え、迂回路を教える。州のインフラ省によると、3月末までにはすべての準備を整える予定としている。

アメリカ 2018年2月15日 Orlando Sentinel

■ アメリカの未来のために投資しよう（イレーン・チャオ運輸長官による寄稿）

Commentary : Let's invest in U.S. future - Transportation Secretary Chao

官民協働プロジェクトの1例として州間高速道路4号線の「I-4アルティミット・プロジェクト」が挙げられる。このプロジェクトは約34kmにわたる州間高速道路の再建によってフロリダ州中部の転換に貢献するものである。1965年の供用開始以来、I-4はデイトナ・ビーチからタンパまでの主要な幹線道路として、フロリダ州中部を貫き東西をつなぐ道であり続けた。このプロジェクトには、両方向にダイナミック・プライシングを用いたエクスプレス・レーンを追加する工事、140基以上の橋梁の架け替え、15カ所の主要なインターチェンジの再構成が含まれている。官民協働の調達方式を活用することによって、フロリダ州運輸省は、標準的な資金調達オプションでは完成までに27年掛かるところを7年で竣工すると見込んでいる。

ドイツ 2018年2月18日 南ドイツ新聞

■ トラックのプラトニング：紐に通されているかのように1列に走るトラック

Lastwagen-Platooning : Lkw-Fahren wie am Schnürchen

4月から、ネットワークで接続されたトラック車両の集団が、アウトバーン9号線を最小限の車間距離で定期運行する。このようなプラトニング（隊列走行）は、燃料消費を抑え道路空間の無駄を省くことができる。しかし貨物運送業者までもがこのプロジェクトに対して懐疑的だ。トラック製造業社のMANと物流会社のDBシェンカーが、デジタルネットワークで接続された2台のトラックを公道で「プラトーン走行」させる。無線によって連結されたトラックは前後12～15mの車間距離で順序良く走行する。1台目のトラックドライバーは、後続のトラックの運転も一緒に行っているも同然だ。2台目のトラックのドライバーは、普段は機械系統が正しく作動しているかを監視するだけでよく、緊急の時のみ運転に関わる。

イタリア 2018年2月26日 La Repubblica

■ 車車間通信は未来に向けての道程

Comunicazione fra veicoli, di corsa verso il future

グループ PSA とクアルコム・テクノロジーは、2020年からの5Gネットワークへの進化に対応すべく、セルラー車とあらゆる物との間の通信（C-V2X）技術の実験段階の進行を加速させている。この技術の数々の実験は、車両間の直接の通信を用いた自動車部門における5G採用の第1段階を示している。最初の実験はすでに昨年2月に行われた。PSA とクアルコムは、5.9GHz帯（PC5）の標準化プロジェクト「3GPP」の仕様に基づいて、連携してC-V2X技術の実験を行っている。

ドイツ 2018年3月14日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ ノルトライン＝ヴェストファーレン州、連邦道路を今後も管理下に

Bundesstrassen in Nordrhein-Westfalen sollen in Landeshand bleiben

ノルトライン＝ヴェストファーレン州は、連邦道路の管理を今後も州の運営会社「Straßen. NRW」で行う。この決定により、アウトバーンの管理のみが2021年に国に移行することになった。国と各州は2017年、財政関係の改革で、アウトバーンと連邦道路を管理する中央インフラ会社を設立することに同意していた。この中央インフラ会社は2021年より、アウトバーンと一部の連邦道路の建設、計画、運営を一手に担う予定である。

スペイン 2018年3月14日 El País オンライン版

■ ACS とアトランティア、アベルティスの共同取得で合意

ACS y Atlantia cierran el acuerdo para tomar juntas Abertis

アトランティアとACSは、アベルティスを共同で管理することで合意した。契約には、アトランティアが当初提示していた買い付け額を取り下げ一方で、ACSは系列のドイツ企業ホッホティーフを通じて1株18.36ユーロという提示額を維持するという内容が含まれる。ただし、これまでとの違いは株での交換ではなく、すべての支払いが現金で行われるということである。契約締結は取引価格を急上昇させる恐れがあったTOB戦争の終結を意味し、最終的にアベルティスの資産は186億ユーロと評価されることになった。

カナダ（オーストリア） 2018年3月14日 Daily Commercial News

■ 従来の伸縮装置は、橋梁建設においては過去の遺物になるかもしれない

Conventional expansion joints could be a thing of the past in bridge construction

高速道路上に建設される長めの橋梁には、両端に伸縮装置が付いている。しかしウィーン工科大学の研究チームが、従来型の伸縮装置を用いないシステムを開発した。コレッガー氏のチームが発明したこのシステムは、床版内に生じた歪みを橋の両端だけで吸収するのではない。歪みはより広範囲に拡散される。このシステムは、20～30のコンクリート材を連続して並べ、特製のグラスファイバー製のケーブルでつなげたものだ。この構造は、いわばゴム紐にたくさんのビーズ玉を通して作られた鎖のようなもので、紐のどこかが引っ張られると、ビーズ玉の間隔が均等に広がるわけである。

ドイツ（オーストリア） 2018年3月18日 Zeit オンライン版

■ ウィーンの近距離公共交通：公共交通の国で

ÖPNV in Wien : Im Land der Öffis

ウィーンを羨望の目で見る交通プランナーの数は多い。このオーストリアの首都は、交通技術の面では多くの点でヨーロッパの他の都市が目指す姿を示しているからだ。例えば、どの交通手段を使ってどれほどの距離を移動したかを百分率で示すモーダルスプリットにおいても当てはまる。公共交通の割合では、ベルリンは最近の調

査で 27%、ハンブルクはたった 18%しかないが、ウィーンでは現在 38%と著しく高い。ウィーンでは自動車の割合は第 3 位だ。ウィーン交通全体における乗用車の割合は、1993 年の 40%から 28%にまで低下してきている。モーダルスプリットにおいて乗用車が第 1 位だったのは 2004 年が最後だ。

フランス 2018 年 3 月 20 日 sanef

■ sanef と sapn の作業スタッフの存在をドライバーに知らせるアプリが登場

Une avancée dans la sécurité des personnels en intervention sur les réseaux Sanef et Sapn : l'application Waze va désormais signaler leur présence

当アプリの情報伝達経路は以下のとおりである。まず、作業のため高速道路上に車両が停止すると、当車両に搭載している GPS を通じて自動的にその存在が検知される。次に、路上に停止している作業車両の情報が Waze 社のサーバーに伝送される。そして、アプリ「Waze」が作業ゾーンに向かって走行しているドライバーに対して「sanef の作業車両あり、注意せよ」との警告がリアルタイムで表示される。

アメリカ 2018 年 3 月 23 日 Engineering News Record

■ トランプ大統領、210 億ドルのインフラ投資増額を含む包括的歳出法案に署名

Trump Signs Omnibus Spending Bill with \$21B Infrastructure Boost

トランプ大統領は、幾分不承不承ではあったものの、2018 年度 1.3 兆ドルの包括的歳出法案に署名した。この法案には高速道路、空港、上下水道処理施設、退役軍人向け保健施設等、一連の連邦インフラプログラム向け増額分 212 億ドルが含まれている。米国道路交通建設者協会が連邦議会との連絡を担当するディーン・フランクス上級副会長は、この一括法案のうち高速道路に充てられた追加の 35 億ドルは、率にして 8%の増加だと述べた。